

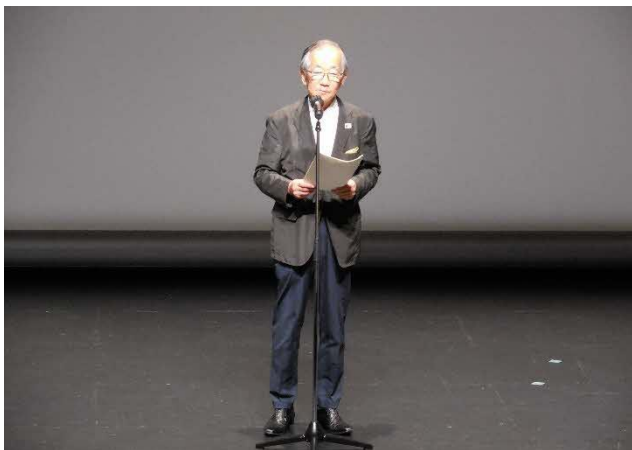
熊本市都市政策研究所開設 10 周年記念 第 35 回講演会

熊本の都市政策・喫緊の課題に迫る 政策間連携で拓く公共交通新時代

日時：令和 5 年（2023 年）7 月 25 日（火）14：00～16：30 会場：熊本市熊本城ホール シビックホール

趣旨説明

熊本市都市政策研究所長 蓑茂 壽太郎



皆さんこんにちは。研究所所長の蓑茂でございます。ただ今、大西一史市長様からご挨拶の中で、今日の講演会の開催意図について触れていただきましたので、私の方からは、今日の趣旨について少しお話をしておきたいと思っております。

研究所が主催しますこの講演会も 35 回目になります。これまでも周年事業として、2 度ほど通常の講演会を变形してシンポジウム形式でやってきております。直近のものとしては、5 周年シンポジウムを行いました。この時は、政令市に置かれた政策研究所として先輩であり、先進的位置にある神戸市と福岡市の研究所の活動を学び、その様子をご紹介いただきました。併せて、私たちとしましても「5 年間でどんなことをやってきたか、あるいはこれを皆さんにどう評価していただいているか」について、点検・評価を試みた次第でございます。

そこで今回は、先ほどのご挨拶のように新しい方向を探ることを念頭に、10 周年の節目となるように企画を考えた訳です。この 10 年間に私たちには、たくさんの期待や要望を頂いております。私は、これを本研究所に対して非常に強い関心をお持ちいただいている「ステークホルダーの皆さん」の声と受け止めていまして、そうした声を力にして一層頑張らなくてはと考えております。

10 年が終わりまして、「これからのとりあえずは 10 年を展望してみなくてはならない」ということで、**終わりの始まり**と銘打って、この 10 周年のシンポジウムの企画構想を新年度を迎えた 4 月から始めました。

これまで頂戴した様々な意見の中には、「役に立つ研究」という声がありました。「市が抱える様々な政策課題について、即、答を出すような研究をしてほしい」という要望だと思っております。私も東京と熊本の 2 つの大学で約 40 年に亘、色々な研究に携わってきました。「役に立つ研究」については、実学研究あるいは地域実学研究として実践経験がありますので、ある程度理解しているつもりでございます。また、この 10 年間に研究所が公表しました合計 50 本ほどの研究報告を見てみますと、それに適うような研究も実施できていると点検できます。論文以外にも先ほども司会者から紹介がありましたように、刊行物を幾つか出版しております。そういった 10 年間の研究成果をご覧いただきますと一定の評価は頂けるものと思っております。しかしながら「更に即戦力になる研究をやらなくちゃいけない」と、決意を新たにしたところでもあります。この機会に、新しい今後の方向を探して当てたいと思っております。車が走るのにガソリンや電気他にセルモーターが必要なように、私たちの研究についてもこのセルモーターの役割が非常に大きいわけですし、これを得るのが今日の一つの狙いでないかと思っております。

そこでここにありますように「熊本の都市政策 喫緊の課題に迫る」というタイトルをつけまして、研究力で熊本市の発展に貢献したい。その私たちの一つの宣言と見ていただけたら幸いかと思っております。

本日取り上げました交通問題でございますが、様々な課題がございます。ご承知の通り、既に関係の局や部におきまして、対策型の色々な施策がなされてきていますし、社会実験も行われております。そういうことも振り返りながら、今日は皆さんで一緒に考えてみたいわけなんです。何よりも都市政策として一番大事なものは、市民の皆さんの理解を得ながらやっていくこと、これが議論の出発点としても今後の展開でも非常に重要だということ。このことを共有することです。市民の皆さんの理解を得るために、多くの方の英知を集め、これに共感されて、お集まりのみなさんで考えていただく、そのような思いで企画しました。持続性を左右するの

も、市民力でございますので、このところをみんなで共有したいということでございます。

「政策間連携で拓く公共交通の新時代」というものについて、いろんな議論が出来たらいいなということでございます。先の国会でも、地域交通法が成立しまして10月からは、そういったことを具体的に展開してく時でもありますので、この機会をとらえてこんなことをやるのも一定の意味を持つだろうと考えた次第でございます。

最初に基調講演をお願いしまして、そのあと、市の中で現在やっていることの話提供を3つほどいたします。そして休憩を挟んで、限られた時間ではありますが討論をしたいと思っておりますので、どうぞよろしく、最後までお付き合いのほどお願い申し上げまして、趣旨説明にしたいと思います。